

氏名	竹島太郎	部署	共通教育科	職名	教授
研究分野	地域医療、プライマリ・ケア、臨床疫学				
学位	医学博士（自治医科大学）、社会健康医学博士（京都大学）				
学歴	自治医科大学医学部卒業、京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻博士後期課程修了				
経歴	2009年：自治医科大学助教、2015年：自治医科大学講師、2018年：福島県立医科大学准教授、2021年：福島県立医科大学教授、2022年：現職				
所属学会（役職）	日本プライマリ・ケア連合学会（代議員）、日本内科学会、日本臨床疫学会（専門家制度委員会委員長）、日本疫学会				

【2022年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
	該当なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	Resting respiration rate predicts all-cause mortality in older outpatients	共著	あり	○	Br J Nurs. 31(9):495-501.	Atsushi Takayama, <u>Taro Takeshima</u> , Takahiko Nagamine	2022.5
2	Resting respiration rate predicts all-cause mortality in older outpatients	共著	あり	○	Aging Clin Exp Res. 34(7):1697-1705.	Atsushi Takayama, <u>Taro Takeshima</u> , Hajime Yamazaki, Tsukasa Kamitani, Sayaka Shimizu, Shunichi Fukuhara, Yosuke Yamamoto	2022.7
3	Usefulness of a mobile phone application for respiratory rate measurement in adult patients	共著	あり	○	Jpn J Nurs Sci. 19(3):e12481.	Ryuji Suzuki, Toshihiko Takada, <u>Taro Takeshima</u> , Michio Hayashi, Jun Miyashita, Teruhisa Azuma, Michiko Usui, Sugihiro Hamaguchi, Shingo Fukuma, Kazuhira Maehara, Shunichi Fukuhara	2022.7
4	Door-to-oral time and in-hospital outcomes in older adults with aspiration pneumonia undergoing dysphagia rehabilitation	共著	あり	○	Clin Nutr. 41(10):2219-2225.	Kohta Katayama, Noriaki Kurita, Toshihiko Takada, Jun Miyashita, Teruhisa Azuma, Shunichi Fukuhara, <u>Taro Takeshima</u>	2022.10
5	Association between resilience and advance care planning during the COVID-19 pandemic in Japan: a nationwide cross-sectional study	共著	あり	○	Sci Rep. 13(1):1371	Jun Miyashita, <u>Taro Takeshima</u> , Kazuhira Maehara, Sugihiro Hamaguchi, Shunichi Fukuhara	2023.1
6	Diagnostic Performance of Physician Gestalt for Bacteremia in Patients in the Process of Being Admitted With Suspected Infection	共著	あり	○	Clin Infect Dis. 76(6):1074-1079.	Kotaro Fujii, Toshihiko Takada, Tsukasa Kamitani, Takuya Aoki, <u>Taro Takeshima</u> , Masataka Kudo, Sho Sasaki, Tetsuhiro Yano, Yu Yagi, Yasuhiro Tsuchido, Hideyuki Itoh, Shunichi Fukuhara, Yosuke Yamamoto	2023.3
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	菌血症の診断における医師の予測の有用性	共同	第13回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会（横浜）		○藤井浩太郎、高田俊彦、紙谷司、青木拓也、 <u>竹島太郎</u> 、工藤仁隆、佐々木彰、矢野徹宏、八木悠、土戸康弘、井藤英之、福原俊一、山本洋介	2022.6	
(4) その他							
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	座長		第5回日本臨床疫学会学術大会（東京）		特別企画 YIAへの道標＜年次学術大会 最優秀賞＞	2022.11	

2. 競争的資金等の研究				
	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	新たな高齢者向け包括的症状測定ツールSymTrak－健康指標としての意義	研究代表者	2020.4～現在
3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	医学概論	○	16	専門基盤科目、福祉学・こども学1年（選択）の1年、対面。社会福祉職・保育士に必要な医学的基本知識を講義。
2	救急救命法とファーストエイド	○	8（担当：6）	専門基盤科目、理学療法・作業療法・健康行動・検査技術・口腔保健（必修）・福祉学・子ども学（選択）の1年、遠隔（ライブ）。保健医療福祉領域の専門職に必要な救急医療の基本を講義。
3	生活習慣病の予防と臨床	○	16	健康行動・3年（選択）、対面および遠隔（オンデマンド）。生活習慣病の知見やエビデンスを紹介し、実臨床に基づき解説。
4	予防医学特論	○	16	博士前期課程の共通科目、遠隔（ライブ）。予防医学の現状と最新の知見を紹介するとともに、英文原著論文の解読法を講義。
5	フィジカルアセスメント		3	博士前期課程看護学専修の専門科目、遠隔（オンデマンド）。「全身・頭頸部」、「消化器系」、「循環器・呼吸器系」の診察法とアセスメント法を臨床推論を用いて解説。
6	加齢運動神経機能論		2	博士後期課程の共通科目、遠隔（オンデマンド）。臨床医学的解析法を内科学的視点および老年医学的視点から解説。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	臨床検査医学総論Ⅰ	○	16	検査技術2年（必修）、対面。臨床検査技師に必要な臨床医学・臨床検査医学を講義。
2	臨床検査医学総論Ⅱ	○	16	検査技術3年（必修）、対面。臨床検査医学の発展的内容を講義。
3	臨床画像診断演習A	○	8（担当：4）	専門基盤科目、理学療法3年（必修）、対面。リハビリテーション医学で必要な画像診断の基礎と臨床を解説。
4	臨床画像診断演習B		4	専門基盤科目、作業療法3年（選択）、対面。リハビリテーション医学で必要な画像診断の基礎と臨床を解説。
5	理学療法特別演習		1	理学療法・4年（必修）、遠隔（ライブ）。「内部障害」および「がん関連障害」について講義。
6	作業療法総合演習		1	作業療法・4年（必修）、対面。「内科系の画像診断」および「リハビリテーション医学」について講義。
7	保健医療福祉演習（臨床人体構造機能Ⅰ）	○	16	博士前期課程の共通科目（2022年度の受講生なし）
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	IPW実習		2022.8～2022.10	全4年（必修）、遠隔（ライブ）。事前打ち合わせから当日まで教員ファシリテーターを担当した。学生が自主的に学び、チーム形成が行うように支援した。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主旨導・副指導の別及び指導人数	
1	該当なし		主旨導 0名	副指導 0名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	神戸大学医学部 非常勤講師	2022.5	医学部4年生対象の「臨床医学講義」において「地域医療における臨床疫学（地域での臨床の大切さ）」と題して1コマ担当した。	
2	自治医科大学大学院 講師	2022.6	大学院生を対象とした演習「2022年度第1回 臨床疫学セミナー」の講師を担当した。	
3	福島県立医科大学 特任教授	2021.4～現在	「須賀川市健康長寿推進事業」および「白河QOL向上プロジェクト」に参画した。	
4	福島県立医科大学 客員講師	2022.4～現在	福島県立医科大学附属病院臨床研究教育推進部が主導する臨床疫学研究に参画した。	

4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	Web講座 第24回ストレス社会を生きる知恵	埼玉県立大学	「ストレスの測定とうつ病の診断」の題で寄稿	2022.10
2	パストゥール生誕200周年記念講演会	埼玉県立大学	「ワクチン開発の 歴史的再考」の題で講演	2022.12
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期	
1	日本プライマリ・ケア連合学会	代議員	2014.7～現在	
2	日本プライマリ・ケア連合学会	研究支援委員会 委員	2012.7～現在	
3	日本プライマリ・ケア連合学会	診療データベース委員会 委員	2019.4～現在	
4	日本プライマリ・ケア連合学会	英文誌編集委員会 委員	2022.7～現在	
5	日本臨床疫学会	専門家制度委員会 委員長	2019.2～現在	
6	日本臨床疫学会	第5回学術大会 実行委員長	2022.11	
7	認定NPO法人健康医療評価研究機構	評議員	2018.4～現在	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容	期間	
1	全学的委員会及びセンター業務等	専門基盤科目担当者会 会長	2022.4～現在	
2	全学的委員会及びセンター業務等	保健委員会 委員	2022.4～現在	
3	全学的委員会及びセンター業務等	衛生委員会 委員	2022.4～現在	
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	第13回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 日野原賞（共同演者）	日本プライマリ・ケア連合学会	2022.6	
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			